

ライムケーキ



ビート（甜菜）から糖分を抽出した残渣物は、嗜好性の良い乳牛のエサになっています（ビートパルプ）。また砂糖を精製する過程で生じるライムケーキも、土改剤として有効に利用されています。



ビート



パルプ

ビートパルプ

粗糖汁

砂糖製品

洗浄・濾過

ライムケーキ



土壌改良材に利用されるライムケーキ

ビートの製糖工程で生じる副産物「ライムケーキ」。

この主成分は石灰で、窒素やマグネシウムなどの肥料分も含まれています（下表）。このため土改材としての価値が認められています。

肥料成分の分析結果（北土開発さんのご提供）

	乾物当たり (%)
全窒素 (N)	0.41
リン酸 (P)	1.75
カルシウム (Ca)	46.3
マグネシウム (Mg)	1.41
カリウム (K)	0.07
pH	10.4



ライム
ケーキ...!?

ライムケーキは安価に入手しやすいため、草地のpH維持管理の他に、更新の際にも多く利用されています。釧路管内では、年間約 15,000 トンが流通しています。

ただし最近では需要がかなり増えてきており、必要な量が確保できるかは予め確認しておいたほうが良いでしょう。



ライムケーキの散布量の目安は、一般的な炭カル¹の 1.2~1.4 倍です。

BB 肥料の選定や散布量の検討も重要ですが、乳牛に嗜好性の良い草を得るためには、草地のpH調整が欠かせません。炭カルや苦土タンカル、あるいはライムケーキによってpH調整をすると、BB肥料をより安価なものに変更できる草地は相当数あります。ちなみに草地の適正pHは5.5~6.5とされていますが、6.0以上にはコントロールしたいところです。

留意しておきたいことは草地を更新する際、あまりに大量のライムケーキを投入すると、土壌条件によっては生育障害の懸念も指摘されています。施肥管理に詳しい方と確認されるのが無難でしょう。

粒状化されたライムケーキは、プロキャスなどで均一な散布が容易で、なおかつ保存性にも優れていますが、残念ながら根鈷方面では入手できないようです。



粉状のライムケーキは専用の散布機（ライムスプレッター）が利用できれば均一な散布がしやすくなりますが、マニュアル・スプレッターやスカベンジャーを利用して散布することも可能です。



釧路管内のライムケーキは、斜里の工場より供給されています。お問い合わせは、各JA資材課あるいはホクレン生産資材課まで。

乳鈷便り Vol.049 「アルファルファの新しい栽培技術」

草地更新事例の作業工程 2

「pH改善のためライムケーキを 8t/10a」とあるのは、0.8t(800 kg)/10aの間違いでした。訂正いたします。



参考：北土開発(下川原さん&HP)、ホクレン生産資材課

